

2024年11月15日

八戸中央青果(株)による香港への青果物の輸出について ～キャベツ(2回目)、メロン(初)、ナガイモ～(初)～

東北経済連合会(会長:増子次郎 以下「当会」という。)では、九州の地域商社「九州農水産物直販株式会社(以下「九直」という。)と生産者を結び付け、東北・新潟の農林水産物・食品の輸出拡大に取り組んでいます。

八戸中央青果株式会社(青森県八戸市。以下「八戸中央青果」という。)では、当会の輸出事業として昨年度初めて九直を通じて、青森県産・岩手県産のキャベツ(1,200ケース)を香港へ輸出しております(令和5年7月13日お知らせ済み)が、今年度も昨年度に引き続き、香港への輸出を実施しておりますので、お知らせします。

具体的には、6月から11月にかけて、10月末現在3,640ケース、最終的には11月末までに約4,000ケースが出荷される見込みで、昨年度と比べ約3倍を超える出荷量となっております。

元々、香港では、日本産キャベツの人气が高く、大きな需要がありましたが、東北においては、集荷力と検品作業(害虫駆除等)の課題から、輸出につながるケースは限られておりました。しかし、「情熱市場」を企業理念として掲げる八戸中央青果では、その産地集荷力を活かすとともに、キャベツの輸出時に不可欠な検品作業体制を整えることにより、香港への数量を増やした継続輸出が実現したものです。

また、キャベツの輸出を契機に、香港から様々な青果物の引き合いがあり、八戸中央青果ではその産地集荷力を活かし、当会の仲介では初めて青森県産のメロン、ナガイモの出荷を実現しています。

- ・青森県産メロン 8月 合計160ケース(5~6玉入り/1ケース)
- ・同 ナガイモ 8月~継続中 合計620ケース(10月末時点)
(400g×10パック/1ケース)

これらは香港大手小売りグループである香港デイルーファーム・グループの店舗で販売されています。

八戸中央青果からは、「キャベツから始まった商売をさらに大きくしていきたい。どんな需要があるかわからないから、こちらから様々な商品を提案していく。」と、さらなる輸出増へ向けての決意が語られました。

九直関係者からは「日本産のキャベツ、ナガイモについてはこれまでも引き合いがあり数量を増やしていきたいと考えている。」と、また、現地バイヤーからは、「日本産のメロンの需要は高く、日本各地からリレー出荷をお願いしている。来年度もぜひお願いしたい。」との話があり、来年度に向けて、さらなる輸出増が見込まれています。

当会では、引き続き、魅力ある東北・新潟産品の輸出拡大に取り組み、当会のビジョン「わきたつ東北」実現の加速化につなげてまいりたいと考えております。

以上



(香港に輸出されたキャベツ、メロン、ナガイモ)

【本件問い合わせ担当】

(一社)東北経済連合会 食・観光グループ 山添 電話：022-397-6528

(添付資料)

1 案件の概要

品目	キャベツ、メロン、ナガイモ
出荷者	八戸中央青果（株）
輸出商社	九州農水産物直販 株式会社
輸出先	香港 Dairy Farm グループ
口 種 ス ケ ジ ュ ー ル	<p>【青森県産・岩手県産 キャベツ】 第1回出荷 6月18日（火）200ケース 以降概ね毎週火曜日出荷 180～300ケース</p> <p>6月～9月上旬まで岩手県産キャベツ 合計1,870ケース 9月中旬～10月末まで青森県産キャベツ 合計1,770ケース 10月末時点で合計3,640ケース 11月も数回出荷予定で、合計約4,000ケースとなる予定 （8玉/1ケース）</p> <p>【青森県産メロン】 赤肉レノンメロン 第1回出荷 8月6日（火）60ケース 合計160ケース（5～6玉/1ケース）</p> <p>【青森県産ナガイモ】 第1回出荷 8月27日（火）10ケース 以降概ね毎週木曜日、20～130ケース 10月末時点で合計620ケース（400g×10パック/1ケース） 11月以降も出荷予定</p>

2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

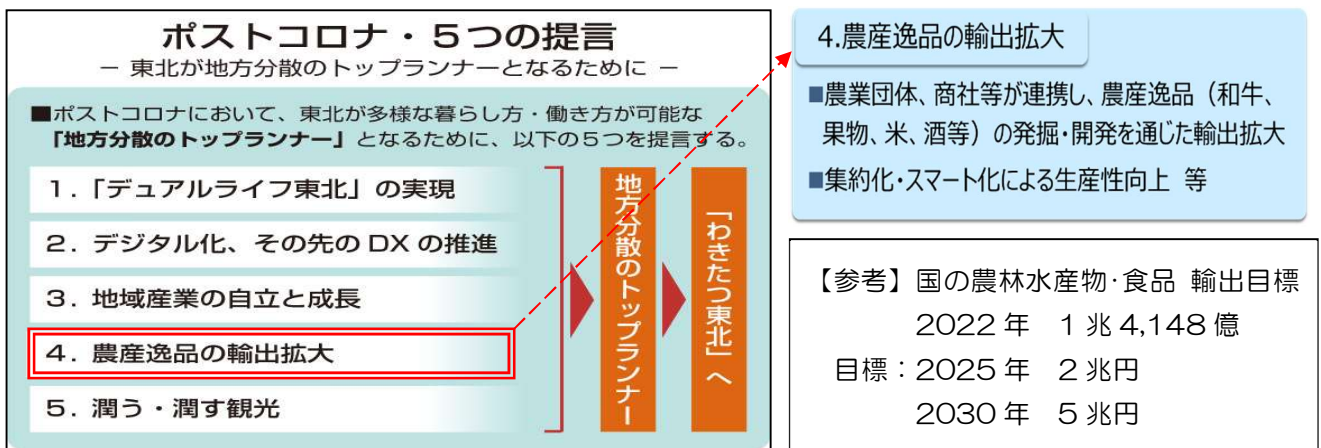
産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース(5~6玉/ケース)
			2022年8月~9月	合計384ケース(5~6玉/ケース)
	鶏卵		2022年3月	608ケース(15パック/ケース)
	キャベツ		2023年7月	100ケース(8玉/ケース)
			2024年9月~	1,770ケース(8玉/ケース)、10月末時点
	メロン		2024年8月	160ケース(5~6玉/ケース)
	ナガイモ		2024年8月~	620ケース(400g×10パック/ケース)、10月末時点
岩手県	キャベツ	香港	2023年7月~10月	1,100ケース(8玉/ケース)
			2024年6月~9月	1,870ケース(8玉/ケース)
	米		2023年10月	432ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50ケース(20袋/ケース)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース(5玉/ケース)
			2021年7月	48ケース(5玉/ケース)
			2022年7月~8月	合計500ケース(4~6玉/ケース)
			2023年7月	合計480ケース(4~6玉/ケース)
			2024年7月	合計610ケース(4~6玉/ケース)
	啓翁桜	香港	2023年2~3月	合計245ケース(20束/ケース)
新潟県	メロン	香港	2023年7月	50ケース(4玉/ケース)
			2024年7月	200ケース(4玉/ケース)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年4月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年11月~2022年3月	約120トン(10kg/ケース、約12,000ケース)
			2022年11月~2023年3月	約100トン(10kg/ケース、約10,000ケース)
			2023年11月~2024年3月	約80トン(10kg/ケース、約8,000ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22ケース(40パック/ケース)
			2022年9月	22ケース(40パック/ケース)
			2023年9月	8ケース(40パック/ケース)
キャベツ	香港	2021年11月	630ケース(8玉/ケース)	

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

【輸出事業の位置付け】

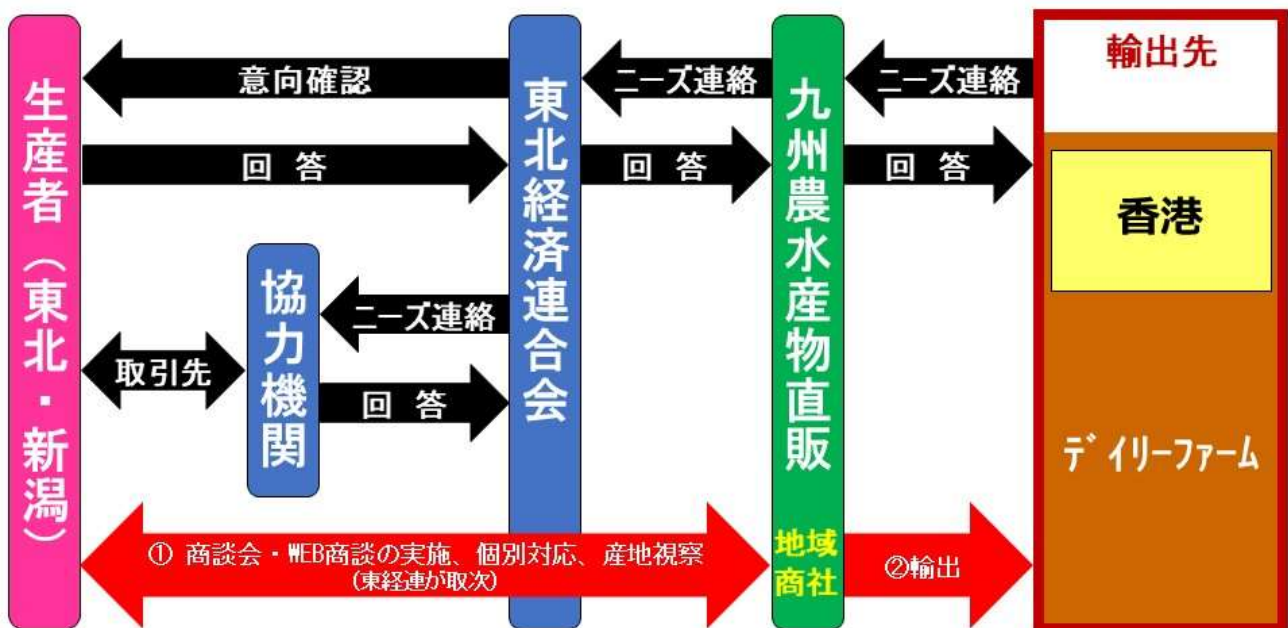
・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。

・輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、東北・新潟域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・東北・新潟域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考1】九州農水産物直販株式会社について

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	小田 保（元九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA宮崎経済連、麻生、九州電力、九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

【参考2】八戸中央青果株式会社について

名 称	八戸中央青果株式会社
代 表 者	横町 芳隆
所 在 地	青森県八戸市大字河原木字神才7-4
設 立	1977年7月25日
資 本 金	1億円
業 務 内 容	青果物及び、その加工品等の卸売業
会 社 概 要	青森県八戸市で昭和7年に創業し、「地域農業の振興と地域住民への青果物の安定供給」という創業理念を基に、生産者の所得向上のために「情熱市場」を体現する八戸中央青果は、県内随一の青果物流会社として、生産者が真心こめて育てた新鮮で安全な旬の青果物を「生産者と消費者の掛け橋」となって、すべての消費者に向け、安定的に供給しています。旬の時期に出荷された生産物を、新鮮なまま食卓にお届けする「旬産旬消」を基本理念に掲げながら、今日も食の未来を見つめつづけ、地域の豊かな食生活に貢献しています。

【参考3】香港 Dairy Farm グループについて

会 社 名	Dairy Farm International Holdings（本社：香港）
主 要 株 主	Jardine Matheson Holdings
創 業 年	1886年
店 舗 数	約3兆6千億円
うちスーパーマーケット	約10,000店（うち、食品部門約5,500店舗）
業 種	約1,700店舗（うち、香港約300店舗）
	小売業